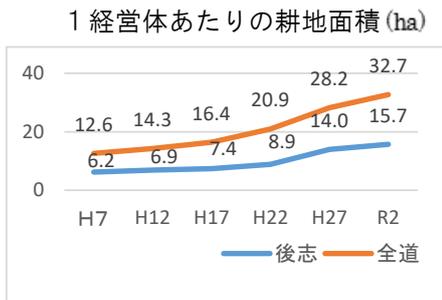


5 後志の農業 AGRICULTURE

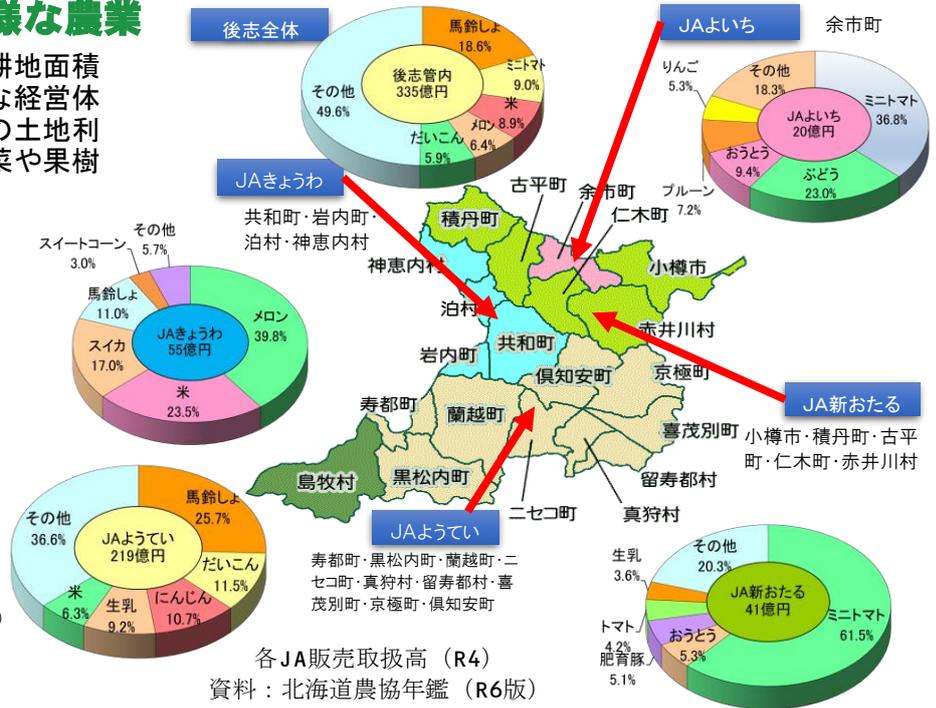
それぞれの地域の多様な気象や土地条件から、稲作のほか、北後志の果樹、羊蹄山麓の畑作物や野菜、南後志の畜産など、地域ごとに特色ある経営が行われている。

■ 地域特色を活かした多様な農業

- 管内の農業経営体あたりの平均耕地面積は全道の5割程度と比較的小規模な経営体が多いことから、畑作や水稲などの土地利用型農業のほか、収益性の高い野菜や果樹などの栽培が盛んである。

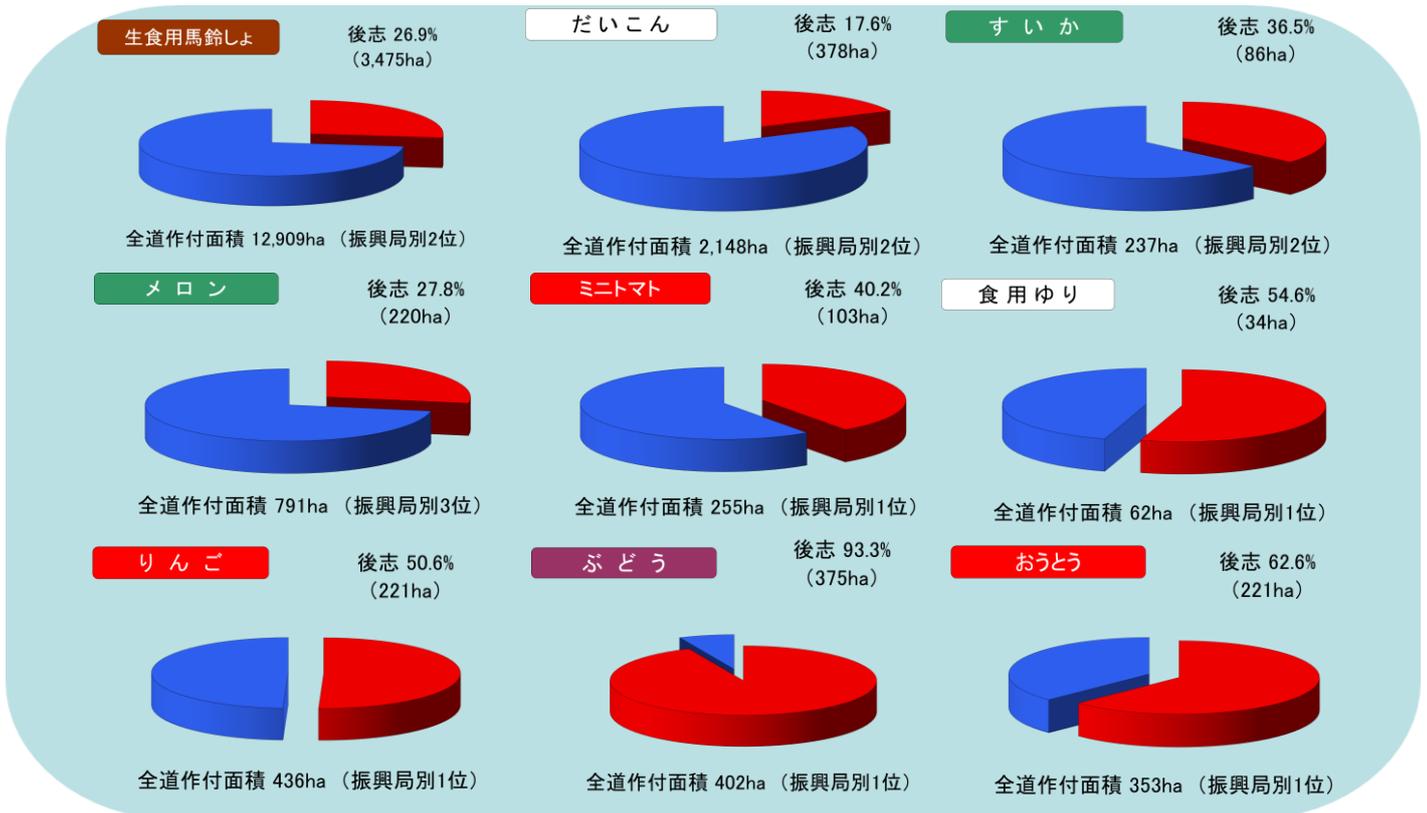


資料：農林業センサス (R2)、農林水産省作物統計 (H27)



■ 管内の主な農産物

- ミニトマト、食用ゆり、りんご、ぶどう、おうとうは、振興局別で第1位の作付面積。
- 生食用馬鈴しょ、だいこん、すいかは、振興局別で第2位の作付面積。
- メロンは、振興局別で第3位の作付面積。



資料：農務課調べ (R3 (生食用馬鈴しょR2))